



さくら組だより

臼井幼稚園

令和6年6月26日発行

梅雨入り後の月曜日は真夏日で、暑い一日でした。園庭での体育や外遊びも20分程度に限定しています。小さい子どもは汗をかくことを厭わず、遊び続けてしまします。ご家庭での外遊びの際も、水分補給や汗をしっかりと拭くことを心掛けて、暑さと上手に付き合っていくようにしてください。

さて、今回は奥田健治先生の『子育てのほんとうの原理原則』をテーマに皆さまに考えてもらおうと書いてみます。この本の帯に「もうムリ、助けて、お手上げ」をプリンシプルで解決、と書いてあります。

家庭に、子育てに関する原理・原則＝プリンシプルをもとう、いつどんな時も、都合や気分にも、世間の風潮にも惑わされず、一貫した態度で子どもに接すること。親に求められるのは、「これだけは我が家の決め事にしよう」というルールを決め、守る態度です。

例えばお菓子は1個だけ、YouTubeは親と一緒に5分だけと決めたら、徹底してそれを守り抜くのです。たかが1個が、子育てがうまくいくか行かないか、の大きな分かれ道だと奥田先生は書いています。

もう1個欲しい、となれば「キーーーーー！」と金切り声を発する、泣き続ける。でも「キーーーーー！」で要求が叶うと、将来、ちょっと気に入らないことがあるとこの声を発し、要求が通らないとキレる子になってしまいます。そういう問題をはらんでいるのです。キレて親を脅しているのです。

「キーーーーー！」はお母さんの「弱み」。「弱み」を持っていると、子育ては不利になってしまいます。「やるならやってもいいけど、必ず損をさせること」という親の新しい姿勢が大切です。

この、例にあげた子どもは「キーーーーー！」と言えば親が言うことを聞くということを学んでいます。この手が通用するのを経験すれば、何度でも同じことを繰り返し、要求はどんどんエスカレートするものです。子どもが社会に出て困らないように「それはいけないこと」と小さいうちから教えておかなければならないことはたくさんあります。

子育ては手がかかることです。今の日本はお母さんも働かなければいけないようになっていきますから、手がかかるのに、手がかけられない状況であることは私達にも十分わかっています。でも、手を掛けずに、

放っておいて社会に適應できるいい子に育つなんてことはありません。手がかからない子なんていないのです。

「家庭のルールづくり」をすると、お母さんの子育ては昨日よりも倍以上たいへんになります。YouTubeと一緒に5分だけ見ることも、だめなものはだめ、を徹底することも、根気がいるし、面倒なことでしょう。

でも子どもがルールを守れたら、ちょっとではなく、めちゃくちゃに褒めてあげてください。盛大に喜んであげないといけない。子どもはルールを守るという大変なことをやってのけたのです。それが「とても素晴らしいこと」というのを、子どもに伝えることが必要なのです。

幼稚園は集団生活で、わがままは通用しないところ、と子どもたちもわかっている、6月にもなれば集団生活にも慣れ、振舞い方もわかってきます。ところが家庭に戻ると、王子様とお姫様ばかりのようですね！家庭でわがままを言っているのは片目くらいつづりますが、家庭と同じように我を通そうとする子が時々います。泣き喚いて要求を通そうとします。でも、主導権は当たり前ですが、先生にあります。幼稚園にもルールがあり、決まりは子どもではなく先生が決め、子どもは守らなければいけないからです。特別はありません。一貫しないと、命にかかわることにもなりますし、子ども達全員に迷惑をかけてしまいます。幼稚園はそういう覚悟を持っていることも、知っておいて欲しいことです。

園長 志田裕美子

## <さくら組今月の目標>

健康・・・水に慣れ親しむ

人間関係・・・自分のグループを覚える

環境・・・活動を楽しみながら、決まりを守る

言葉・・・「ありがとう」「ごめんなさい」「貸して」「いいよ」が言えるようになる

造形・・・描画、絵手紙

音楽・・・「あくしゅでこんにちは」「セタ」「みんなの広場」

## <担任から今月のメッセージ>

先日はファミリーデーにお越しくださりありがとうございました。

家族と一緒に登園で笑顔全開の子や、普段はニコニコ笑顔いっぱいの子も、お家の人にべったりコアラちゃんだったり、いつも以上に気合いが入り、汗だくで走り回った子など、色々な顔がありました。母の日参観では、まだまだ緊張で顔が強張っていた子も、笑顔で参加していてとても嬉しかったです。

宝探しは、いかがでしたか？

「出発ーーーー！」と皆さんを送り出したあと、そっと足型の部屋を見に行きました。お子さんの足に足型を合わせて「これかな？これかな？」とシンデレラな家族や、一つ一つ足型をじっくり真剣に見ているお父さん、お母さん。本当に微笑ましかったです。今年がたくさんのだミーも混ぜておいたので、「全員不正解だったらどうしよう」と不安だったのですが、……。難易度高めの中に、2組も正解が！！！！！！「やったーーーー！」とついつい大きな声で叫んでしまいました。中には、「迷ったほうが正解だった...」と悔しい声も。全力で宝探しに参加して下さったんだな、と本当に嬉しかったです。

最後のふれあい遊び「GO Down ジェットコースター」は「保護者の皆さんのノリが大事ですーーーー！」

と、お願いして始めたおかげで、出だしから全員ノリノリで最後までできました！一緒に参加して下さったお家の方が全員笑顔で、子どもたちの「きゃーーーー！」という嬉しい叫び声に溢れていて、とても幸せな時間を過ごすことができました。みなさんのご協力があったからこそだと思っています。本当にありがとうございました。

最近のさくらさんは、友だちを意識出来るようになり、「今日は〇〇ちゃんお休み？」「〇〇ちゃん泣いてるー」と、お友だちを心配したり、「先生、〇〇ちゃんきたよー！」と、クラスの子が登園したことを教えてくれる子もいます。

先日、一人の子が”はっくしょん！”と、くしゃみをした時に、”ブシュッ”と鼻水が出てしまい、私が「あああああ！！ティッシュー！」と叫ぶと、バーーーーー！と私より早く立ち上がり、サッとその

お友だちにティッシュを渡してくれた優しい子がいました。朝の会では、お当番活動が始まり、みんなの前で

「お名前を教えてください」

と聞かれると、もじもじする子は一人もおらず、全員が堂々と「〇〇です！」とカッコよく発表してくれます。聞いているみんなも座り方がとても素敵で、最後までしっかり聞くことができ、とてもカッコいいです。時々足を投げ出して座っている子がいる時は、「格好良く座っているのは誰かな？」と声掛けすると、ささっと姿勢を正し、”どうどう？”の視線で見つめてくれるので、「みんなかっこいいーーーー！」と言うと、とても誇らしげな表情です。

今年のさくらさんは少人数ですが、少人数だからこそ出来る活動や制作をたくさん行っていこうと思っています。参観でお話した綿あめの宝物製作もそうですが、今までに行なったことのない活動が出来ることは、私もとても楽しみです。「今日〇〇したよー」と話しに出たときは、是非耳を傾けてあげてください。これから水遊びやぬたくりもあるので、全力でみんなと遊んでいきます！

高橋 まりこ

